

ドビュッシー — 歌曲の散歩道

Le promenoir des mélodies de Claude Debussy—En commémoration du centenaire de sa mort—

iNVENTO 音楽シリーズ I フランス音楽講座 第8回

フランス詩と音楽の誘い VII

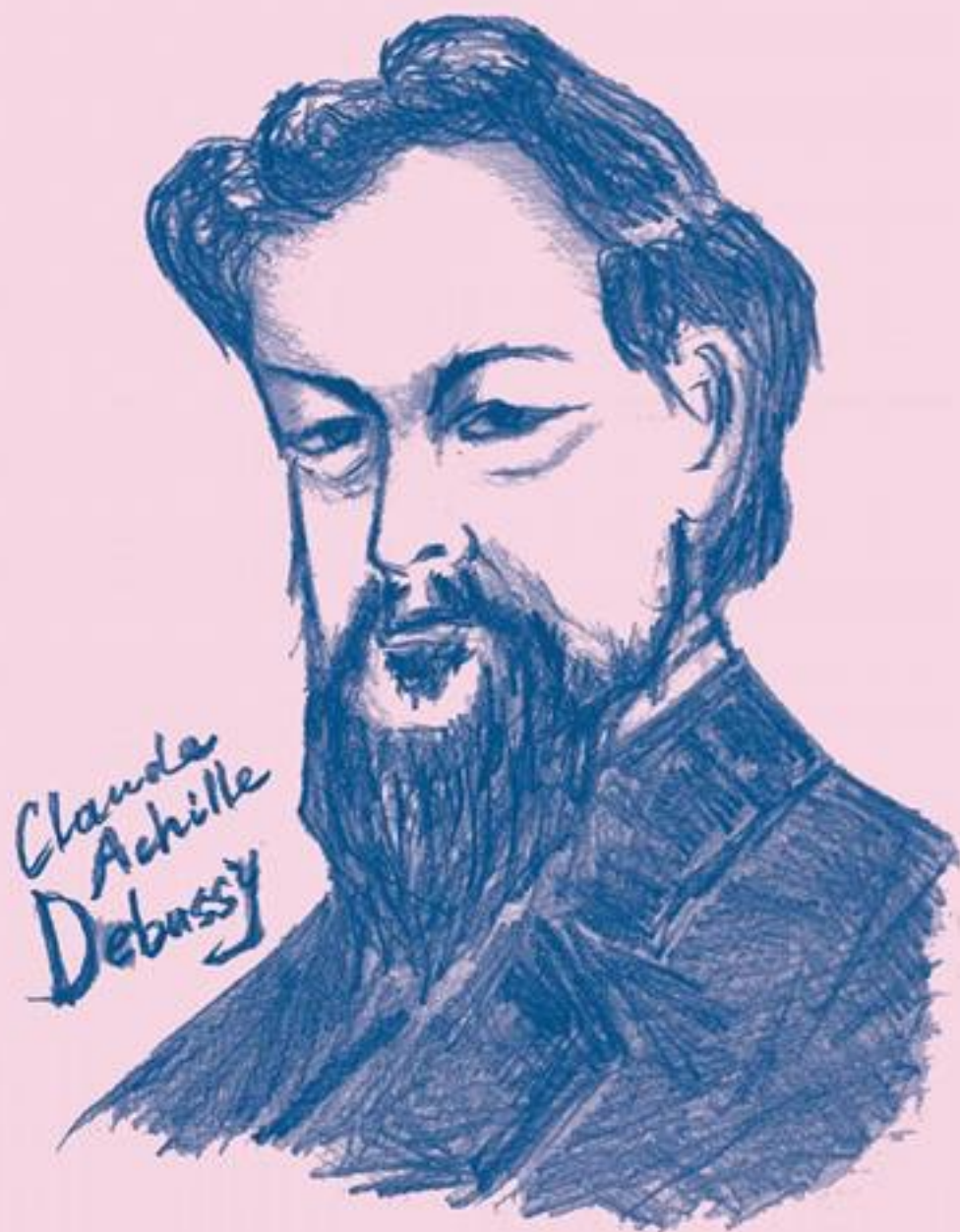
今年没後百年を迎えたクロード・ドビュッシー(1862~1918)は全生涯にわたって歌曲を書き続けました。詩と音楽のより完全な融合を目指して深まっていく大作曲家の道程を、作曲家自身による興味深い作品群にもスポットをあてつつ、様々な時期の名作によってたどります。

2018.09.15(土) | 14:00開演(13:30開場)

会場 | 下高井戸コワーキングスペース iNVENTO

演奏 | 根岸一郎[ピアノ・ハイトン] 盛田麻央[ソプラノ] 大背戸亜紀子[ピアノ]

参加費 | ¥3,000



ドビュッシー 歌曲の散歩道

Le promenoir des mélodies de Claude Debussy—En commémoration du centenaire de sa mort—

Claude Achille Debussy

クロード・アシル・ドビュッシー

1862年8月22日～1918年3月25日

19世紀後半から20世紀初頭にかけて活躍したフランスの作曲家。数百年にわたった長・短調による機能と声体系の支配と、厳格な形式の軀から西洋音楽を解き放った人物。全く新しい魅惑的な響きと、暗示的かつ神秘的な力を持った彼の音楽を、人は当時の美術や文学の潮流の名を借りて、印象主義とも象徴主義とも呼んだが、洗練の極みに研ぎ澄まされた感性と唯一無二の美学が生み出したドビュッシーの自在な音楽世界はそうした範疇にかさまるべきものでもあまい。続く世代に計り知れない影響を与えた音楽史上最高の天才の一人である。

演奏



根岸 一郎

[ご案内・バトン]

武蔵野音楽大学声楽科および早稲田大学文学部卒業。パリ第IV大学修士(比較文学)。声楽をカミーユ・モラース、中村浩子、川村英司、村田健司の各氏、フランス語音声学を鈴木重教氏に師事。フランス音楽コンクール、日仏声楽コンクール、アンリ・ソーゲ国際コンクールに入賞。日仏声楽コンクール審査員。中世音楽から現代作品まで活動の幅はきわめて広い。日本フォーレ協会、コンセル・C、東京室内歌劇場会員。



盛田 麻央

[ソプラノ]

国立音楽大学声楽科卒業、同大学院フランス歌曲コース修了。二期会オペラ研修所第52期マスタークラス修了。修了時に優秀賞及び奨励賞受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院首席、及びパリ国立高等音楽院修士課程を満場一致の最優秀の成績で卒業。第17回日仏声楽コンクール第1位、及び竹村賞受賞。第12回東京音楽コンクール第2位など数々のコンクールで入賞。二期会会員。



大背戸 亜紀子

[ピアノ]

東京生まれ。桐朋学園大学ピアノ科卒、同ベダゴジカル・ディプロマコース修了、バルセロナ・マーシャル音楽院他にて研鑽を積む。ピアノをA・デ・ラローチャ、C・ブラーボ・デ・モンボウ各氏他に、スペイン音楽を濱田遊郎氏に師事。演奏形態は幅広く、ソロ演奏や協奏曲のソリスト他、歌曲や室内楽のピアニストとして共演者からの信頼も厚い。演奏活動の傍ら、地域の子どもたちと自主的かつ自由な表現力を育み、未来へつなぐミュージカル・ジャーニー(MJ)ピアノスタジオを運営。

演奏予定曲

「星の夜」「美しき夕べ」「眠れない夜」「家のない子らのノエル」
「叙情的散文」より「ビリティスの歌」より「恋する二人の散歩道」よりなど

ご予約・お問い合わせ

メール info@coworking-invento.jp | 電話 03-6413-0054

下高井戸

コワーキングスペース

INVENTO (インベント)

<http://coworking-invento.jp>



世田谷区松原 3-30-10 双葉屋ビル (呉服 双葉屋) 2F